

## 閃光

発行元

ビジネス教育訓練所株式会社

令和八年夏号

Business

## 「創業四十年」

お陰様で、弊社は今年で創業四十年という大きな節目を迎えることができました。これもひとえに、これまで支えてくださったお客様ならびに関係各位の皆様のご支援、ご愛顧の賜物であり、心より感謝申し上げます。

四十年前の創業当時、私はまだ小学生でしたが、創業者である父（三塚）が一人で会社を立ち上げ、文字通り寝る間を惜しんで働いていた姿は、今でも鮮明に記憶に残っています。

当時は現在のようにオンライン研修もなく、資料作成から営業、研修運営に至るまで、すべてを一人で担っていました。連日の出張の中、電車のつり革を握ったまま眠り込み、気が付くと目的地を過ぎていたという話も、よく聞かされました。

また、家族で夕食を囲もうとしていたある日、一本の電話が入りました。電話を受けた父は「何？ ○○訓練生が脱走した？」という言葉を残し、食事もそこそこに片道九十分の研修会場へと向かっていきました。研修中の受講者に関する緊急連絡だったようですが、その姿を目の当たりにしながら、幼いながらに「研修という仕事は、人の人生や成長に深く関わる責任ある仕事なのだ」と感じたことを覚えています。

創業から四十年。社会環境や働き方は大きく変化しました。しかし、人の成長が組織の成長につながり、その先に企業や地域の発展があるという私たちの想いは、創業当時から変わっておりません。

このたび四十年を迎えるにあたり、日頃の感謝の気持ちを形にすべく、記念企画の実施と新たな研修プログラムを開発しました。これまで多くのお客様と歩み中でいただいたご要望や課題をもとに、今の時代に求められる学びと気づきをご提供できる内容となっております。詳細は別紙にてご案内申し上げますので、ぜひご利用いただけましたら幸いです。

四十年という歴史は、単に過去を振り返るためのものではありません。これまで積み重ねてきた経験を礎に、これからの十年、三十年先を見据えながら、より一層お客様のお役に立てる人財育成サービスを提供してまいります。

今後とも変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

ビジネス教育訓練所株式会社

代表取締役 高谷 愛美

日々是精進

## 講師の独り言

講師  
佐藤 晃樹

## 「言葉の豊かさを大切にしたい」

新入社員研修を担当していると、最近気になることがあります。それは「やつ」という言葉を安易に使う場面が増えていることです。

「こういうやつです」「前に話したやつです」など、本人に悪気はなく、日常会話の延長として使っているのですが、ビジネスの場面では少し気になります。本来であれば「資料」「案件」「事例」「担当者」など、その対象にふさわしい言葉があります。適切な言葉を選ぶことで、相手に正確に伝わるだけでなく、相手への敬意も表すことができます。

このような傾向の背景には、読書等豊富な語彙に触れる機会の減少

や、テレビやインターネットの影響もあるのかもしれませんが。芸能人や著名人でも「やつ」という言葉を使っている場面を、以前に比べると目にする機会が多くなりました。日常的に使う言葉は広まりやすく、知らず知らずのうちに私たちの会話にも入り込んできます。

しかし、日本語には本来、世界に誇れるほど豊かな表現があります。例えば、一日の終わりを表すだけでも、「日が沈む」「日が落ちる」という言い方がありますし、「くれなずむ」という言葉には、沈みきらない夕日が空に余韻を残す情景まで込められています。同じ出来事を表していても、選ぶ言葉に

よって伝わる景色や感情は大きく変わります。

言葉は単なる情報伝達の道具ではありません。自分の考えを表現し、相手との関係を築き、文化を受け継ぐ大切な財産です。便利な言葉だけで済ませるのではなく、「もっと相応しい表現はないだろうか」と考える習慣を持つことで、表現力は確実に磨かれていきます。

新入社員に限らず、私たち自身も日々の言葉遣いを見直したいものです。豊かな日本語に触れ、その魅力を味わいながら言葉を選ぶ。その積み重ねが、より良いコミュニケーションと、相手を思いやる心につながるのではないのでしょうか。



上司も部下も感じてる「この1on1、意味があるのかな…？」

## 制度だけでは機能しない、1on1成功の鍵とは

近年、多くの企業で1on1ミーティング（以下、1on1と記す）を導入する動きが広がっています。

1on1とは、上司と部下が1対1で定期的に行う対話のことで、人事評価の場ではなく「部下の成長促進」「信頼関係の構築」「モチベーション向上」を目的とし、週1回から月1回程度の頻度で実施されます。しかし、研修や企業訪問の際に「制度はあるが機能していない」「雑談で終わってしまう」「部下が本音を話してくれない」といった相談を受ける機会が増えています。

一方で、1on1を継続的に運用できている企業では、「会社への信頼感が高まった」「自分の成長を実感できる」「上司に相談しやすくなった」という声が多く聞かれ、その結果、エンゲージメントの

向上や主体的な行動につながっているケースも少なくありません。

では、なぜ同じ1on1でも成果に差が生まれるのでしょうか。その大きな理由は、「制度を作ること」と「運用すること」は別だからです。面談日程を設定するだけでなく、実施頻度のルール化や報告書の提出など、仕組みづくりは多くの企業で進んでいます。しかし、それだけでは十分ではありません。上司側に必要なスキルやマインドが備わっていなければ、単なる業務報告の場や、「実施した」という実績づくりのためだけの形骸化した面談になってしまいます。

本来、1on1は部下の悩みを解決するためだけの場ではありません。上司と部下がお互いの考えや期待、仕事に対する認識をすり合

わせ、「目指す方向」を共有するための対話の場です。その中で、部下が抱える悩みや課題を整理し、自ら解決策を考えられるよう支援していくことが重要です。上司が答えを与えるのではなく、対話を通じて気づきを促し、成長を後押しすることが1on1の本来の役割といえるでしょう。

そのためには管理職自身が1on1の目的を正しく理解し、傾聴や質問、承認といったコミュニケーションスキルを身につける必要があります。制度を整えるだけでなく、「何のために行うのか」を組織全体で共有し、管理職のスキル向上を図ることで、1on1は社員のエンゲージメント向上と成長を支える大きな力となります。運用でお困りの方はご相談下さい。（鈴木）

40<sup>th</sup>  
Anniversary

## 創業40周年企画

人と組織の成長を、これからも。

おかげさまで、当社は創業40周年を迎えます。感謝の気持ちを込めて、特別企画を用意しました。

企画  
1

### 研修講師が企画した 特別企画を特別価格でご提供

弊社研修講師が、今伝えたいテーマを厳選！短時間で学べる特別プログラムを、40周年特別価格でご提供します。

例えばこんなテーマ！

- 理想的な事業継承とは (60分)
- 商品を売らずに選ばれる営業 (90分)
- コーチングの基本 (120分)
- 危機管理の心構え (120分)

このほか多数テーマをご用意しています。

※通常価格より20~30%OFF！

詳細は案内のチラシをご覧ください

企画  
2

### 現状を打破し挑戦する人材へ 中堅社員実践3日間合宿！

これからの組織を支える中堅社員が、自ら考え、行動し、成果を生み出す力を磨く3日間。陥りがちな悪習に気づき、中核人材としての役割を再認識自身のキャリアと組織の未来を考える時間を提供します。



日程は10月27日(火)~29日(木)詳細はチラシをご覧ください

■10月までの研修日程※参加希望の方は事前にお問合せ下さい。

- ビジネス特訓4日間合宿… 7月14日(火)~7月17日(金) 延長あり
- 管理者特訓6日間合宿… 7月14日(火)~7月19日(日) 延長あり
- ビジネス特訓4日間合宿… 9月10日(木)~9月13日(日) 延長あり
- 管理者特訓6日間合宿… 9月10日(木)~9月15日(火) 延長あり
- 営業マン特訓5日間合宿… 10月2日(金)~10月6日(火) 延長あり
- 営業マン実践3日間合宿… 10月20日(火)~10月22日(木) 延長なし
- 管理者実践4日間合宿… 10月20日(火)~10月23日(金) 延長なし

■編集後記/講師の仕事をしていると、様々な参加者に出逢います。性格や考え方、経験が重なり、誰一人同じ人はいません。研修の課題で優劣がつくこともあります。そもそも人は異なる存在です。他人と比較して一喜一憂するより、ありのままの自分を受け止め、他人を認められる感性を養う「場」を作っていきたい。参加者の皆様がワクワクする未来を描き、前向きな一歩を踏み出せるお手伝いをしたいと考える今日この頃です。(吉田)



心に、ガツンとくる体験を。グッとくる経験へ。

ビジネス教育訓練所株式会社

〒989-3128 仙台市青葉区愛子中央3-16-2  
TEL:022-392-5511 FAX:022-392-5039  
E-mail:kensyu@business-k.co.jp  
スタッフブログは右のQRコードからどうぞ！▶

